

一條コラム 4

上場企業にお勤めしている人たちが持つ「特徴」についての考察

先程、いわゆる上場企業と呼ばれる企業さんたちも分類ができるというお話と、「雇われ社長系の上場企業」のスタンスについてのお話をさせていただきました。

これに関連して言うと、実は上場企業にお勤めしている人たちにも特徴があります。

ただし、僕が見ている限りにおいて言うと、この特徴が実際に上場企業にお勤めしている人たちご自身のなかで自覚されていないことも多い気がします。

その一方で、なにをするにしても自分が置かれている状況や自分自身の傾向を理解しておくことはとても役に立つことだと思えます。

そこで、このコラムでは、上場企業にお勤めしている人たちの特徴についてお話してみたいと思います。

▼僕が見ている限りにおいて言うと、上場企業にお勤めしている人たちには「3つの特徴」があります。

その特徴のひとつめは、「自分の能力に対する自負がある」ということです。

これは考えてみれば当然の話で、そもそもそういう東証一部上場企業と呼ばれていたような企業に就職するためには、就職活動の段階でいろいろな競争をくぐり抜ける必要があります。

つまり、「今、上場企業にお勤めしている人たちは」、「その競争をくぐり抜けてきた人たち」だということになります。

また、その人たちの学歴を見ると、世間的に「いい学校」と言われている学校を卒業している人たちも多かったりします。

ということは、その人たちはおそらく、学校でもある程度の成績を残してきた人たちだと考えられます。

このような要素によって、上場企業にお勤めしている人たちのなかには、その人が自覚しているかどうかに関わらず、自分の能力に対する自負が醸成されている。

僕はそのように捉えているのですが、その一方で、僕がこういう話をする、「いやいやいや、私なんてなにもできませんよ」という反応をする人たちも出てきます。

特に上場企業にお勤めしていらつしやる女性の社員さんたちのなかにはこのような反応を示す人が多いのですが、では、その人たちが自分の能力を「下の下」だと認識しているかというと、そんなことはないと思うのです。

実際、自分の能力に対して少なくとも、「中の上」もしくは「上の下」ぐらいの認識を持っている方が

多いように感じます。

いずれにしても、上場企業にお勤めしている人たちのなかには、「自分の能力に対する自負」があることが少なくないようです。

ですので僕は、このことを、上場企業にお勤めしている人たちが持つ特徴のひとつだと捉えています。

▼ ふたつめの特徴は、「相対的に高い給与を受け取っている」ということです。

もちろんひとくちに「上場企業」といっても、それぞれの企業さんにはそれぞれの給与体系がありますので、それぞれの企業にお勤めしている人たちが受け取っている給与の額には幅があると思います。

ただ、相対的に見てみると、上場企業にお勤めしている人たちの給与の水準は、たとえば国内の企業数の90%以上を占める中小企業と呼ばれる企業にお勤めしている人たちの給与の水準に比べると、はるかに高いのです。

その一方で、僕がこういう話をすると、「いやいやいや、そうは言ってもうちはそんなに給料、高くないんですよ。だから結構厳しいんですよ」というようなお話をしてくださる人たちもいらっしゃいます。

では、その人たちの給与の水準が「下の下」なのかといえれば、そんなことはなくて、冷静に金額を見れば、悪くても「中の中」という感じになっている。

そのような状況があったりします。

いずれにしても、上場企業にお勤めしている人たちは、相対的に高い給与を受け取っていることが少なくない。

ですので僕は、このことも、上場企業にお勤めしている人たちが持つ特徴のひとつだと捉えています。

▼ みつつめの特徴は、「上場企業にお勤めしている時点で、まわりの人たちから『すごい』と認識されがちである」ということです。

実際に、今、上場企業にお勤めしている人たちのなかには、たとえばその上場企業に就職が決まったときに、ご家族の方や親戚の方、もしくは近所にお住まいの方たちから、「すごいね」とか、「よかつたね」という声をかけられた方も少なくないと思います。

これは、世の中の一般的な傾向として、いわゆる上場企業と呼ばれている企業が、「普通の人が入社するのはむずかしいくらいすごい企業である」と認識されているからだと思われしますが、いずれにしても、上場企業にお勤めしている人たちは、上場企業にお勤めしている時点で、まわりの人たちから「すごい」と認識されることが少なくないようです。

ですので僕は、このことも、上場企業にお勤めしている人たちが持つ特徴のひとつだと捉えています。

▼  
ここまで、上場企業にお勤めしている人たちが持つ「3つの特徴」についてお話をしてきました。

ただ、このコラムの冒頭でもお伝えしたとおり、これらの特徴が実際に上場企業にお勤めしている人たちご自身の中で自覚されていないことも多い気がします。

そういう意味で、ご自身も含めて、自分の同僚も、自分の上司も、自分の部下も、そういう特徴を持っているのだという理解があれば、いろいろな面で役に立つこともあるかもしれないと思い、少しお話しさせていただきました。

この理解を持って、社内の人たちを観察してみると、今まで気づかなかったことに気づく方もいらっしゃるかもしれません。

ご参考にしていただける部分があれば幸いです。